

ICT活用

デジタル教科書、Google Workspaceの活用 ～鳥取市立世紀小学校、鳥取市立末恒小学校の取組～

鳥取県学校教育情報化推進計画に基づくアクションプランの位置づけとして、本年度はICTの「活用充実期」の2年目（最終年度）にあたっています。今号外では、デジタル教科書を活用した取組を進めている鳥取市立世紀小学校と鳥取市立末恒小学校の実践を紹介します。

鳥取市立世紀小学校

宿題(予習)で解説動画(スマートレクチャー)を視聴

ノートの写真を
オクリンクで提出

児童がそれぞれどこまで
理解しているかを把握して
授業に臨むことができます。

鳥取市立末恒小学校

解説動画(スマートレクチャー)の活用

解説動画(スマートレクチャー)を使い、ヒストグラムのかき方を一斉指導しながら、同時に個別指導も行うことができます。スマートレクチャーは、字幕のオンオフや再生速度を簡単に設定変更することができ、本時目標の達成に向けて、一人ひとりの学び方に添った活用が可能です。

解説動画はこちらのQRコードから↑

スマートレクチャーで自分の理解度が把握できます。

だれがどんな考えをしているのかが分かるので、ペアの話し合いでは主体的に相手意識や目的意識をもって取り組むことができます。



友達がどんな方法で問題を解いているかを参考にして、より深く考えることができます。

デジタルコンテンツの活用

教材研究の幅が広がります。

図形を回転させたり折りたたんだり、いろいろと試すことができます。

安心して図形に書き込んだり消したりできます。

紙媒体かデジタル媒体かを、児童が自分で選ぶこともできます。

デジタルコンテンツの活用

1人1台端末で教科書のQRコードを読み取ると、ヒストグラムをかためのシートが表示されます。

指やタッチペンで思うように操作できます。

自分のペースで停止したり分からないところを何度でも見返したりできます。

スプレッドシートで振り返りを共有

毎時間の振り返りをスプレッドシートに蓄積しています。振り返りの蓄積や共有により、児童は、自分の学びや変容が確認できるだけでなく、友達が記入している内容も確認できるので、気づきが得られます。

何度でも簡単に書き直しができるので、ヒストグラムをかく負担が軽減し、児童の意欲や理解の向上に役立ちます。

教職員には、今あるものをどのように活用していくのかというコーディネート力が求められています。解説動画(スマートレクチャー)やデジタルコンテンツ等を積極的に利活用しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組みましょう。

2月
授業研究会等

校内授業研究会等の
情報はこちらから →



エキスパート教員の
公開授業はこちらから →

